

半導体通信
Vol.3

シリコンサイクルと半導体関連株式

「シリコンサイクル」と半導体関連株式の動きには一定の連動性が認められていることから、今後半導体市場の回復とともに、半導体関連株式のさらなる上昇が期待されます

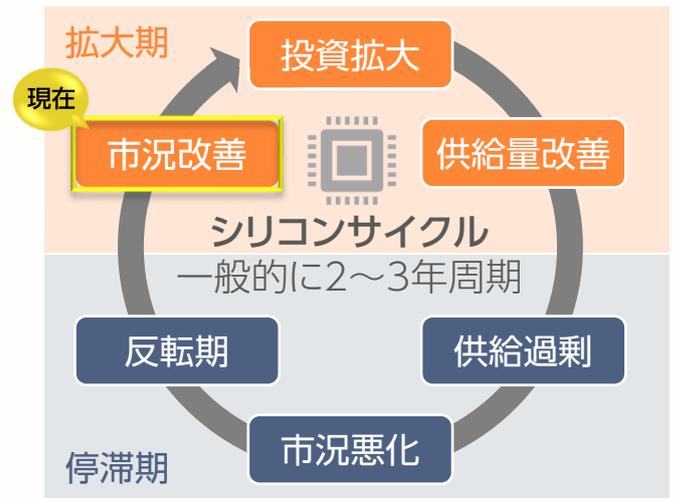
半導体産業の「シリコンサイクル」とは？

- 「シリコンサイクル」とは、半導体産業の中長期的な成長の中で観測される好況と不況の構造的な景気循環のことをいいます。半導体の主材料がシリコン(Si)であることに由来した言葉です。
- 近年は2～3年周期で好不況を繰り返すサイクルとなっており、現在は市況改善のタイミングと考えられます。今後は投資拡大や供給量改善が期待される局面にあります。
- また、半導体は技術革新のスピードが速く、関連企業は生産設備の刷新を都度行っていく必要があります。しかし、設備投資には数千億円から兆円単位の巨額の資金がかかるだけでなく、投資タイミングや在庫の見極めが難しいため、好不況の波の変動が大きくなりやすい傾向があります。
- こうしたことから、半導体関連株式への投資は、「シリコンサイクル」の影響を考慮する必要があります。

世界の半導体売上高はプラス転換、半導体関連株式は上昇期待が高まる

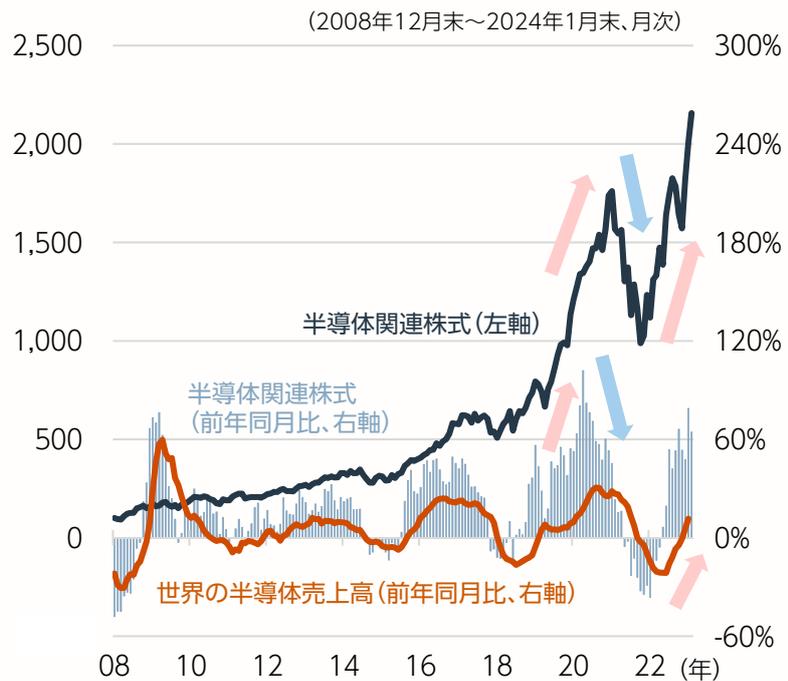
- 右図の通り、過去の半導体関連株式と世界の半導体売上高の動きをみると、一定の連動性があることがわかります。
- 例えば、コロナ特需が到来した2021年は、世界の半導体売上高(前年同月比)が過去10年で最高水準にありましたが、2022年後半から2023年にかけてその反動で大きく低迷、半導体関連株式も同じような動きをみせました。
- その後、半導体市場は「シリコンサイクル」の谷を抜け、2024年から本格的に回復し好況期に向かう見通しであることから、半導体関連株式は、今後さらなる上昇が期待されます。

シリコンサイクルのイメージ図



※上記はシリコンサイクルの一般的なイメージ図であり、特徴の全てを網羅したものではありません。
(出所)各種資料を基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成

半導体関連株式と世界の半導体売上高の推移



※世界の半導体売上高(3カ月移動平均値)は2023年12月まで
※半導体関連株式は、MSCIオール・カンントリー・ワールド・半導体・半導体製造装置インデックス(配当込み、米ドルベース)で、グラフの起点を100として指数化
(出所)Bloombergのデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成
※上記は過去のデータであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。



【 ご留意事項 】

- 当資料は三井住友トラスト・アセットマネジメントが投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆様へ帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。